

Contents

Part 1 Diagnosis 診断

- Chapter 1 Analysis 分析
- Chapter 2 Planning and Treatment with Aligner アライナー矯正治療のプランニング・治療
- Chapter 3 Digital Simulation デジタルシミュレーション
- Chapter 4 6 Steps Planning 6ステッププランニング

Part 2 Aligner Case Report アライナー症例集

- Chapter 1 Crowding 叢生
- Chapter 2 Space Arch 空隙歯列
- Chapter 3 Class II クラスII
- Chapter 4 Class III クラスIII
- Chapter 5 Open Bite 開咬
- Chapter 6 Deep Bite 過蓋咬合
- Chapter 7 CMD 顎顔面頭頸部の不調をとまなう患者への治療
- Chapter 8 Extraction 抜歯矯正
- Chapter 9 TADs テンポラリーアンカレッジ
- Chapter 10 Pediatric 成長期
- Chapter 11 Senior 60歳～
- Chapter 12 Surgery First 外科的矯正治療 サージェリーファースト

Part 3 Shape Memory Aligner 形状記憶アライナー

- Chapter 1 Introduction 概論
- Chapter 2 Shape Memory Aligner Case Report 形状記憶アライナー症例集

■著者



檀 知里 CHISATO DAN (スマイルイノベーション矯正歯科 副院長)

【経歴】
2007年 神奈川歯科大学歯学部卒業
2011年 本郷さくら矯正歯科勤務



渡邊仁資 HITOSHI WATANABE (スマイルイノベーション矯正歯科 勤務)

【経歴】
1998年 昭和大学歯学部卒業
2016年 昭和大学歯学部口腔外科学教室顎顔面外科学部門講師



熊谷友理子 YURIKO KUMAGAI (スマイルイノベーション矯正歯科 勤務)

【経歴】
2014年 日本大学歯学部卒業
2015年 本郷さくら矯正歯科勤務

きりとり線

注文書

アライナージェネレーション Dr. 尾島賢治のテクニック&分析ポイント131のすべて

モリタ商品コード:208041019 冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

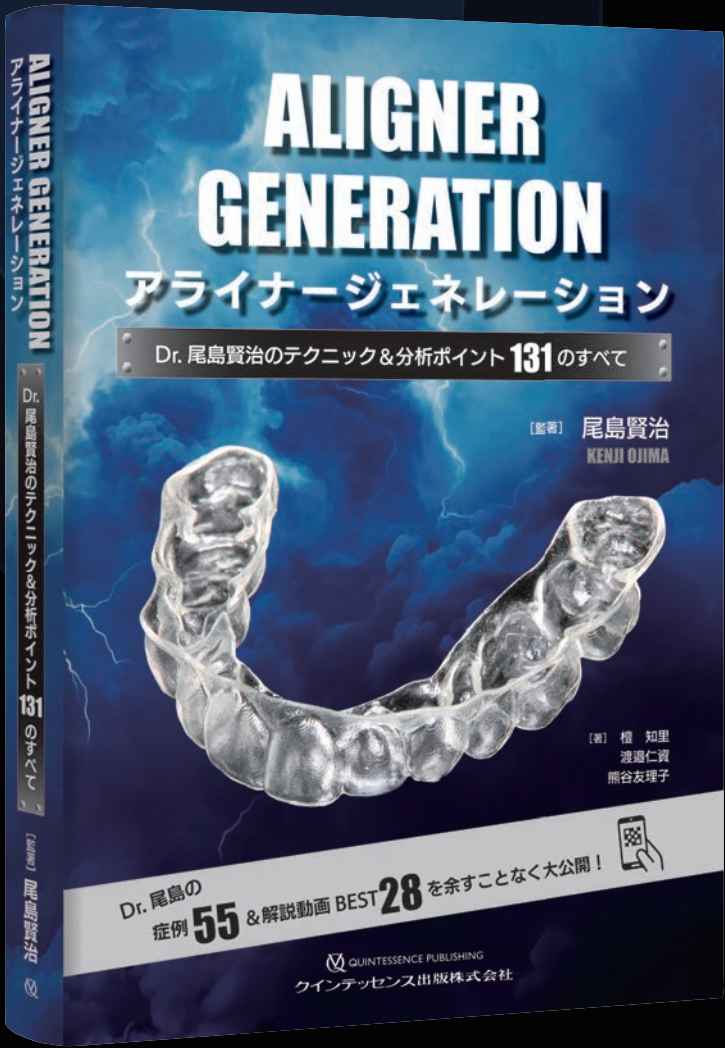
※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

アライナーの先駆者として世界をリードする著者、
待望の初本格書籍

ALIGNER
GENERATION

アライナージェネレーション

Dr. 尾島賢治のテクニック&分析ポイント131のすべて



アライナー矯正専門医院として 4,000 症例以上の実績を有し、世界 41 か国で講演依頼を受けるほどの支持率の高い著者の経験から生み出されたアライナーテクニックと分析哲学を解説するとともに、叢生や空隙歯列、開咬、過蓋咬合など症例別に厳選した 55 症例を供覧。また YouTube、Instagram 総フォロワー数 7 万人を誇る著者ならではのわかりやすい解説動画 28 本付き。さらに、いま注目の「形状記憶アライナー」についてもふれる。

【監著】 尾島賢治

【著】 檀 知里
渡邊仁資
熊谷友理子

【主な活動】
Invisalign が日本で始まった当初からアライナー矯正専門医院として 4,000 症例を超えるアライナー矯正治療に携わってきた。2022 年からはインハウスアライナー、形状記憶アライナーを取り入れ、これまで 41 か国から講演依頼を受け、2024 年は 24 か国にて講演を行う。また、2014 年インビザラインに関する論文を JCO にて発表、その後海外論文を多数掲載。2024 年 11 月には形状記憶アライナーに関する論文を同じく JCO にて発表。



(医療法人スマイルイノベーション 理事長)

尾島賢治
KENJI OJIMA

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判 ●368ページ ●定価29,700円(本体27,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウビル
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 https://www.quint-j.co.jp e-mail mb@quint-j.co.jp



Part 1 Diagnosis 診断



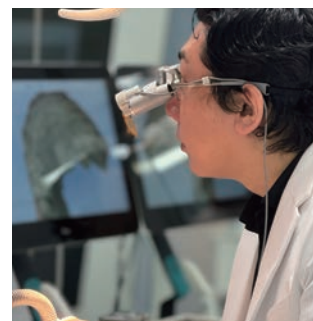
Chapter 1 Analysis

アライナーテクニックの複雑な内容を理解するには、診査・診断・分析が非常に重要で、分析するうえで、どのような着眼点をおけばよいのか詳しく解説する。



Chapter 3 Digital Simulation

アライナー矯正は、デジタルデータと連動することで、可視化され、歯の移動限界を確認することができる。ここではデジタル化することのメリットについてふれる。



Chapter 2 Planning and Treatment with Aligner

アライナー矯正のプランニングの立て方やチェックポイントを1つずつ紐解いて解説する。



Chapter 4 6 Steps Planning

治療計画を立案する際、心がけている6ステップ、①顎位の決定、②セファロ分析、③前歯部の位置決め、④デジタルセットアップ、⑤歯根のポジション、⑥ステージングを解説する。

Part 3 Shape Memory Aligner 形状記憶アライナー



Chapter 1 Introduction

いま、第5世代と呼ばれる3Dプリンターによるダイレクトプリントアライナーの形状記憶アライナーに進化している。ここではその概論について解説する。



Chapter 2 Shape Memory Aligner Case Report

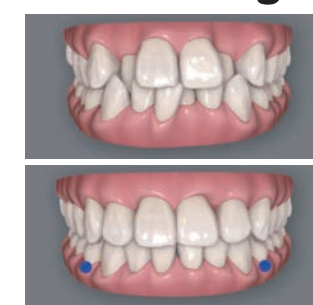
形状記憶アライナーの製作のステップの流れや実際の症例を供覧する。



視聴可能

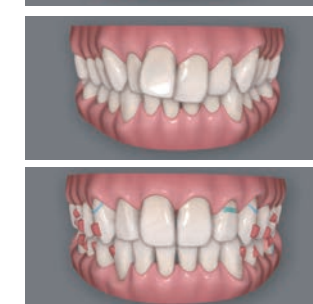
【動画について】
・本動画および動画サービスは予告なく終了または変更/削除することがあります。
・環境によって動画を正常に視聴できないことがあります。
・本動画の利用者と第三者間に生じたトラブルないし損害についてクインテッセンス出版株式会社は一切の責任を負いかねます。

Part 2 Aligner Case Report アライナー症例集



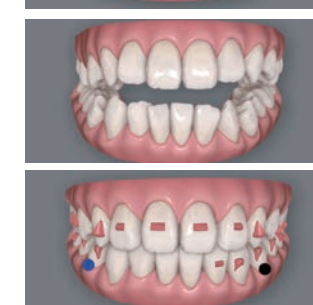
Chapter 1 Crowding

叢生の基本的なアプローチはどのように「スペースを作るか？」である。ここではアライナーならではの側方拡大のタイプ別拡大方法を解説する。



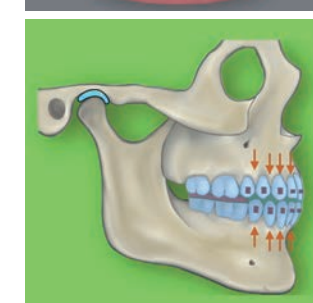
Chapter 3 Class II

上顎大臼歯遠心移動はアライナー矯正において有効手段の1つである。ここでは主に Class II div1 と div2 のアプローチの違いについて解説する。



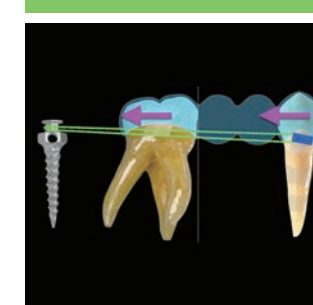
Chapter 5 Open Bite

開咬の場合、前歯の挺出量とポジションをどのように決めるかがポイントになる。ここでは具体的な戦略の立て方と症例を供覧する。



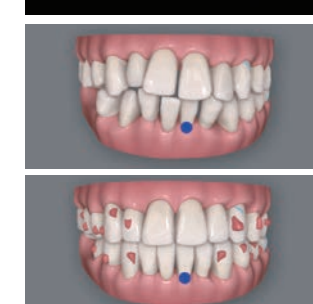
Chapter 7 CMD

顎顔面頭頸部の不調をとまなう患者の場合、筆者らは COPA スプリントを併用する。ここではアライナーとスプリントの戦略的な治療ステップを解説する。



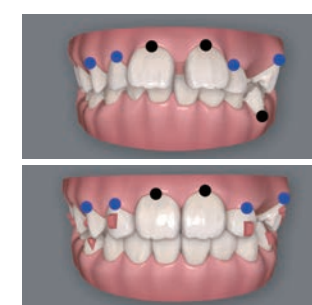
Chapter 9 TADs

ワイヤー矯正の TADs とアライナー矯正で使用する TADs は移動方法によって戦略が異なる。ここではその注意点や実際の応用の仕方を症例とともに解説する。



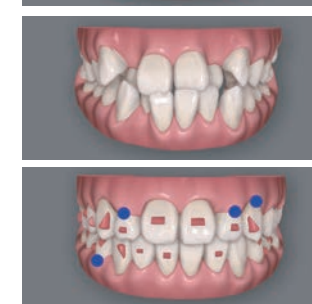
Chapter 11 Senior

シニア層は処置歯や欠損も多いが、コンプライアンス意識の高いメリットがある。ここではシニア層ならではのアプローチを解説する。



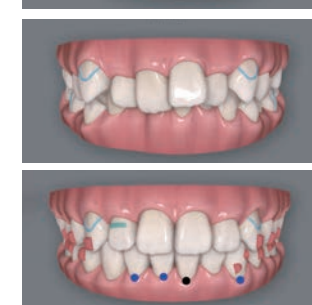
Chapter 2 Space Arch

空隙歯列の治療を行う際、忘れてはならないのは「なぜ歯に空隙が残っているのか？」ということ。ここでは発生要因と問題点を探るとともに症例を供覧する。



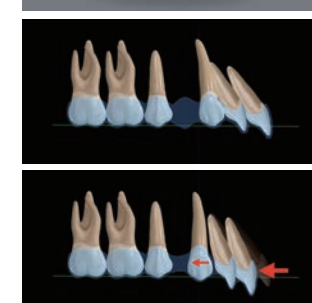
Chapter 4 Class III

骨密度の高い下顎大臼歯遠心移動は上顎大臼歯の遠心移動と比べて難易度が高くなる。ここでは治療計画を立てる際のポイントと症例を供覧する。



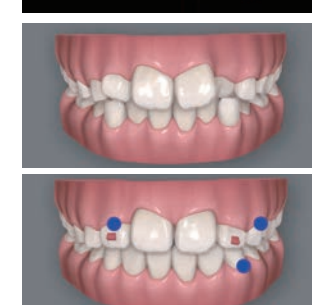
Chapter 6 Deep Bite

過蓋咬合は、前歯の圧下と臼歯の挺出をいかに効率的に行うかを分析し、治療計画に組み込んでいくかが鍵となる。ここではポイントについて言及する。



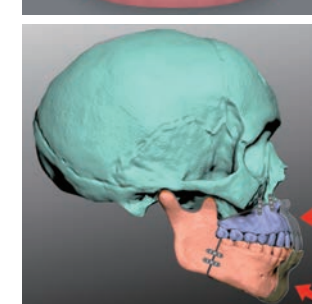
Chapter 8 Extraction

抜歯矯正はアライナー矯正の中で難易度が高く、コントロールしづらい。ここでは抜歯矯正で注意している事柄について症例とともに供覧する。



Chapter 10 Pediatric

小児矯正は成長予測と成長ピークが重要で、アライナーは口腔衛生上にもおすすめです。ここでは混合歯列期の不正咬合を中心に症例を供覧する。



Chapter 12 Surgery First

サージェリーファーストは従来の外科的矯正治療と比べて患者メリットが多い。ここでは睡眠時無呼吸症候群患者に用いた再治療症例を供覧する。